

令和7年度 延岡市立東海小学校 学校評価書

質問	評価	全体平均	学校の自己評価		
			学校の自己評価	学校の自己評価自己評価コメント	
			学校関係者評価		
			学校評価関係者のコメント		
学習	1 学習のきまり(態度や姿勢、発表など)	3.0 (B)	3.2	・新年度当初から、学習のきまりや「机上の整理」「話し方・聞き方」「立腰の仕方」などの掲示資料を活用して共通理解と全校で統一した指導を図る。	・学習の進め方が分かる工夫により、子ども達が安心して学習に向き合えていると思います。 ・チャイム黙想は習慣として身に付いている。掲示物や子ども同士で声を掛け合う姿があって良いと思います。一方、窓から身を乗り出したり、シューズで外に出たりする姿も見られることもある。 ・今後家庭と連携しながら、学ぶ意欲を育てる取組を期待します。
	2 家庭学習(自学や宿題、読み声など)		3.2	・年度当初に、学年の実態を鑑みた宿題についての基本線を学級懇談会などで説明をする。	・東海小は統一した理解と指導がされており、先生達が明るいです。 ・個別最適な宿題の内容も考えてみるとよい。ノー宿題デー(読書の日)が週1ぐらいあってよい。 ・家庭学習はメリハリをつけることになっていると思う。 ・最近では親も子どももメディアに負けて読書の時間が減っている。親子での読書が必要ですね。 ・図書室に行くと読書の時間をしっかり設けては？朝読書の時間についても増やすとよい。 ・マザーサタの絵本の読み聞かせは有効だと思います。読書を楽しむと感じるきっかけになる。 ・「読む」と合わせて「書く」活動にも重点を置いた学習の展開を期待したい。
	3 進んで読書		2.6	・月1回の家読ノーメディアデーや、2週間に1回の朝読書の時間を設定し、読書の時間を確保する。	・「読む」と合わせて「書く」活動にも重点を置いた学習の展開を期待したい。 ・授業参観などで先生の話静静地に聞き入る姿が多く見られ、学習のきまりを守って実践できている。
心	4 礼儀(あいさつや返事、言葉づかい)	3.2 (A)	3.1	・4月に「東海っ子 よい子のくらし」を確実に配付し、その後も定期的に配付しながら継続した指導を実施するようにする。	・挨拶や思いやりを大切にされた指導が日常的に行われ、温かい人間関係づくりが進められていると感じます。 ・今後も子ども一人一人に寄り添った心の育成を大切にしていきたいです。 ・「東海っ子よい子のくらし」はきまりとマナー、礼儀が混在しているため、きまりが分かったりよす表記されたい。 ・「東海っ子よい子のくらし」を読み声で読んでほしいかも。民生委員や警察など外部との連携も考えるとよい。
	5 思いやりのある優しい態度		3.3	・通級担当との連携も図りながら、継続していく。集団指導ではなく個別指導を実施することが必要な児童もいる。	・家庭での家族関係が良いこと、返るということが思いやりのある優しい子どもを育てますね。 ・登校中に挨拶すると、100%返ってきます。みんな思いやりのある子ども達ばかりで感じます。 ・毎年2回開催するあいさつ運動では、元気に挨拶をしてきて、礼儀も思いやりもある子どもが多いと感じる。
健康	6 感染症予防(うがい・手洗い)	3.0 (B)	3.1	・保健委員会による感染症予防ポスターの作成や、校内放送や保健だよりでの啓発を行っている。	・感染症予防など、健康面への配慮が行き届いていると感じます。引き続き、家庭と連携した健康づくりを期待します。
	7 体力向上(外遊び、持久走やなわとび)		2.8	・体育委員会主催の「みんなで遊ぶ日」の実施を検討する。 ・各学級ボール、ビー、大縄の配当。大谷グロブの活用を検討する。	・子どもの体調管理を守るための対策は大切であるが、その中でも家庭での生活習慣の管理は一番大切だと思う。 ・生活習慣、メディアコントロール等については、懇談で取り上げて、保護者に啓発していくことが必要。 ・家庭で挨拶を率先して行くと、子どもは自然と身に付けていくと思います。 ・昼休みに先生、友達とするなわとびが楽しいという声を聞きます。 ・ふだん、外で遊んでいる子どもが少なくない。 ・長期休業明けの「生活リズムモンスタースター攻撃日記」はゲーム性もあり、効果的です。リズムがすぐに規則的に整います。モンスタースターなど、アップデートしてはどうかと思うか。 ・家庭でのルールを守り、メディアコントロールをしないと、子どもの人生、生命に悪影響が及ぶことを親が学ぶ必要がある。
	8 生活習慣(早寝・早起き・朝ごはんなど)		3.1	・生活習慣の確立やメディアコントロールについては、年2回、長期休業明けに「生活リズムモンスタースター攻撃日記」を、今後も実施する。	・オーストラリアが2025年12月から、16歳未満の子どものSNS利用を禁止する法律が施行されたが、日本もこのくらい大手を振るべきだと思います。 ・幼い子ども達にとってマスク着用は大変だと思うが、体調が悪いときは周りの配慮、マナーとしてしっかりマスクをするよう声かけをお願いします。
	9 メディアコントロール(スマホやゲーム、テレビなどのルール)		2.6	・安全意識の低い児童が目立っている。放課後のことでもあるので、繰り返し保護者への啓発を行っている。	・交通ルール、子ども達の安心・安全を守る対策を学校・地域・家庭が一体となって徹底していきましょう。 ・学校で指導されていることを家庭でも子どももしっかりと伝え、交通ルール遵守を習慣づけたい。 ・以前、地域の子どもの自転車の乗り方について相談したところ、早急に対応していただき改善されました。 ・高齢ドライバーなども多くなっているため、地域での安全教室などやれるといいと思う。
	10 安全意識(交通ルール)		3.2		
学校運営全般	11 命を守るための知識・行動	3.3 (A)	3.3	・防災ドリルでの啓発を継続していく。	・学校だより、ホームページを通じて学校の様子が分かりやすく発信されており、安心感があります。 ・ホームページは充実しており、見るのが楽しく、行事や学校の様子がよく分かる。 ・わくわくブログで本当に丁寧に報告してくれていて様子がよく分かります。Tetoruでワクワクブログへ誘導するのもよいかも。 ・日々の学校運営においても、教職員の皆様が共通理解のもと、子ども達のために尽力されていると感じています。
	12 人間関係(いじめなどをせず、仲良く生活)		3.3	・「ふるさと延岡」を知り、郷土愛や自然愛護の心を育むための体験的学習を更にブラッシュアップして推進していく。	・SNSでのいじめが問題になっている。危険性や正しい使い方を指導する授業をもつことが必要。専門家の協力もあるとよい。また、何かあった時に先生や保護者にすぐに相談できる環境づくりも大切。 ・今後も定期的な避難訓練の中で、防災についての学びを深めていく必要がある。 ・子ども達の交友関係については、家庭でも話題にし、知っていくことでトラブルを未然に防ぐことができると思います。
	13 地域への愛着(自然や文化、地域の人々など)		3.1	・各種補助金を有効活用して多様な学習を展開していく。	・人間関係が希薄な中での子育てはどうしても孤立や孤独を感じさせることが多いと思います。今こそしっかりと三つ巴の連携を組み、子ども達の育成を見守りたいです。 ・地域の人々を通して、自然や文化を知ることができ、地域に親しみをもつことができている。 ・地域や校区内の歴史や神話を学ばせたい。東海再発見ワークや6年生の西岡隆盛記念館に行つての研修は非常にいい企画。令和9年は西南戦争から150周年にあたるので、市も様々な行事を計画しています。
	14 安心できる学校(親が安心して子どもを預けることができる)		3.3	・今年度は毎日ホームページを更新し、学校の様子を発信した。学校便りや学級通信も定期的に発行し、情報発信に努めている。今後も継続していく。	・先生方の熱心さが子ども達に反映されていて、安心して預けられる学校です。 ・まめにHP等で情報発信されており、手に取るように伝わっている。お疲れ様です。 ・「東海再発見ワーク」は地域のことを知り、コミュニケーションの場になる素晴らしい取組だと思う。このような企画は大切に続けていけたら良いです。来年は子ども達とごみを拾いながら歩きたいと思いました。
	15 情報発信(ホームページやメール、学校だより、学級通信など)		3.6		
家庭・地域	16 地域との連携・協力(「知・徳・体」全部の面で)	2.9 (C)	3.2	・家庭で行うべき教育については、様々な手段での発信を実施し、家庭にその教育の重要性を確認してもらう機会を増やす。	・家庭や地域と連携した取組が進められており、学校が地域に支えられていると思います。一方で保護者や地域がさらに参加しやすいような情報共有や関わりの機会が増えることでより良い協力体制が築けると考えます。今後も学校・家庭・地域が同じ方向を向いて子ども達を育てていくことを期待します。 ・家庭教育に関してはPTA新聞の内容に取り上げるとよい。 ・家庭教育には仲間がいれば、一緒に成長し、一緒に喜ぶことが大事だと思う。東海小はやれることを頑張っていると思います。
	17 家庭でのしつけ(交通ルールや社会のきまりなど)		2.8	・コミュニティ・スクールの取組を今後も推進していくとともに、学校と地域が、お互いにWin-Winの関係になるように地域の思いを積極的に収集していく。	・R7に実施したことをさらにブラッシュアップさせていく方向で考えていく。新たなことを取り入れるなら精選も考える。 ・東海小は地域との連携がよく、声をかけると協力的に関わってくれる。 ・地域でできること、家庭でできること、学校でできることを共有しながら続けていくようにする。対話も大事。 ・帰宅時間やヘルメットをかぶる等、命を守るための約束を家庭でもしっかり結びたい。 ・宿題等はやっただけで済ませず、教科書と一緒に見てみるなども必要。子どもが喜ぶ。 ・地域(区)の行事に協力できない家庭が増えた。 ・学力定着に向けての、先生方の取組が具体的に良い。
	18 保護者と学校の協力(学力向上のため)		2.9	・通信等での学習内容や、習得状況、良い取組例を発信する。	・子ども達が社会の一員として、必要な規範意識を身に付けるために家庭・学校・地域がチーム東海となり、共通の視点をもって、子ども達を支える体制作りができると良いと思います。 ・ソフトボールを通じて子ども達の健全な成長を支えてこられた指導者など、地域に根ざした好例があります。 ・社会福祉協議会とのグラウンドゴルフ交流会など、地域の方々と交流は素晴らしいです。
	19 保護者と地域(区)との協力		2.7		
食育	20 地域との連携協力(健全育成のため)	3.1 (B)	3.0		
	21 学校給食献立の効果		3.0	・食育だよりで給食レシピの紹介を継続する。	・食育だよりや給食の工夫から、子ども達の健康を第一に考えた取組が伝わってきます。今後も食への関心や感謝の心を育む取組を期待します。 ・家庭でも給食レシピを参考にしています。おいしく好評です。給食は充実していてありがたい。 ・全学年で野菜作りを取り組んで、土に触れる機会があるといいですね。 ・子ども達が育てた野菜が給食に提供されたことは、食育の観点からも大変意義深い取組だと感じる。 ・学校給食で栄養を保つ子ども達がいるのも事実。地産地消の食材を中心に献立でこれからも食育を推進してほしい。
	22 食育の推進(食育だよりや食育の授業)		3.1	・食育だよりの発行を継続する。 ・食育の授業を今後も推進していく。	・メニューのネーミングが面白いと食べたり、話したりのする工夫がありがたく、続けてほしい。

A…よくできている B…概ねできている C…あまりできていない D…できていない